

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス すまいるくらぶ				公表日	令和7年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			利用される方や車椅子を使用される方的人数によって狭く感じる場合もあります。併設されているテラスに出る事や、利用者の希望に応じてホールやスタッフルームも使用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	25%	75%	少ない人数で協力し、利用児の安全な生活を維持している状況です。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%		大きな段差などはありませんが、テラスに出る際の少しの段差やテラスから外への非常口の段差があるため、気をつけて対応をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		終業後に毎日清掃を行い、清潔で心地よい環境になるように努めています。また安全に配慮した環境設定を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	75%				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	始業時の朝礼、終業時の夕礼にて一日の流れの確認、また当日の出来事を振り返り、報告、情報共有を行っています。	職員全員で現場の状況、利用児の様子、ご家族の希望等を把握し合い、よりよい支援を行えるよう継続して取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%		保護者様のご意向を把握する機会を設け、業務改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		定期的開催している職員研修に、職員全員が参加できる体制を整えています。やむを得ない場合は必ず伝達や確認を行うようにしています。	個人で参加する研修以外にも、他部署との全体ミーティングや外部講師を招いての研修の機会、同法人内事業所間での話し合い等も実施しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	75%	25%		職員数の問題で作成が遅れがちになっていますが、時間を上手く作って定期的に作成するようにしていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	75%	25%	利用児と保護者のニーズに基づいて、デイサービス計画に反映させています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%		計画を立てていますが、職員全体での共有が出来ていない部分があるので、計画に沿って行えるように努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	50%	50%		職員の人数の関係で十分な話し合いが出来ておらず、新しい支援計画書の作成が滞っています。職員の人数の問題が解決次第、早急に取り組み具体的な支援内容を設定し、計画書の作成も行っていきたいと思えます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		翌月の活動内容を職員全員で話し合っ計画を立てています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		職員一人一人がその日の利用児の事を考えて、全員が参加できるような活動になるように、努力、工夫しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		毎日支援を開始する前に必ずミーティングを行っています。報告、連絡、相談を大切に、その都度話し合いを設けています。	当日の支援や活動、送迎といった注意事項を毎日ミーティングで確認し、対応しています。今後も引き続き安全にご利用していただけるよう行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		送迎の終了後、当日と翌日の支援や送迎について話し合い、改めて翌日の事前ミーティングでも再確認しています。	ミーティングのみでは話し合えない事例やアクシデントがあった場合は、改めて話し合いの場を設けています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		活動や遊びの記録に加えて、利用児の健康状態等を必要に応じて記録しています。	タブレット、パソコンを使用して、正しい記録をとることを徹底しています。支援の検証、改善につなげるために、引き続き行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	50%	50%		相談員からのモニタリングを受けて行っている状況です。放デイ側からも積極的にモニタリングを行っていきけるようにしていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	50%	50%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	75%	25%	意思の疎通が困難な利用児に対しても、必ず声掛け（問いかけ）をし、体の動きや目の動きなどからどのような思いを汲み取るように努めています。	職員側の自己満足や一方的な決めつけにならないよう、職員間でも話し合いなどをしながら適切な支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		相談員と連携を密にして、最もふさわしい職員が出られるよう対応しています。	一人ひとりによりよい支援が提供できるよう、引き続き相談員と連携を密にして最もふさわしい者が参画して、支援につなげていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%		適宜整えていけるよう努めています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	50%	50%	学校や他のデイサービス、家族と連絡を取りながら適切な対応ができるよう努めています。	情報共有や連絡調整を適切に行い、安心して通っていただける体制が維持できるよう引き続き行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%	必要に応じて情報を共有しますが、現在の所あまりそのような機会がありません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	現在の所、そのような積極的な交流などはありませんが、お出掛けなどの活動時、地域のお子さんとの自然なかかわりなどは見られます。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%		現在は行っていませんが、少しずつ取り入れていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時等、日頃の過ごし方等を口頭で伝えていきます。特に重要な事に関しては、電話等でも伝えていきます。	連絡帳や送迎時等に保護者へ利用児の様子や課題を伝え合い、情報交換を大切にしています。引き続き共通理解を持って支援ができるよう行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	課題点に対して一緒に話し合い、利用児、保護者にあった方法を提案しています。	放課後等デイサービスだけでなく、学校や相談事業所等、関わりのある場所全体で連携を取る必要があると思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		質問等がある場合は、その都度丁寧な説明ができるよう心掛けて対応しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	75%	25%		職員の人数の関係で実際に行えていない状況もあります。職員の人数が安定して来次第、より丁寧な対応を行って参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		相談があった場合は職員全員で話し合い、必要に応じて相談支援専門員やハビリ専門職員等と連携しています。	職員全員で対応して、必要に応じて他事業所等と連携を取りながらそれぞれの問題に対して助言や必要な支援を行っています。引き続き行えるよう対応していきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	25%	75%		今後の課題としてどのような事をしていけばいいか、検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情があった場合は、職員全員が共通の認識のもと、適切に対応できるよう努めています。	安心して楽しみながら通っていただけるよう努めていますが、苦情があった場合は迅速に対応し、繰り返し不快な思いをされないよう今後も努めていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	おたよりやお知らせを発行して配布しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	75%	25%	文字だけでなくイラストや写真カード、ジェスチャー等を用いて個々で分かりやすいよう配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%		今後の課題としてどのような事をしていけばいいか、検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	25%	75%		契約時やおたより等で周知しています。今後も機会をみながら説明を行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25%	75%		今後の課題としてどのような事をしていけばいいか、検討していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		書面化し、全員が分かる場所に掲示し、緊急時に対応できるように配慮しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		医師の指示書に基づき、保護者や看護師、栄養士と連携して対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	50%	50%		今後の課題としてどのような事をしていけばいいか、検討していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	50%	50%		今後の課題としてどのような事をしていけばいいか、検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハットがあった場合は、報告書を作成し、今後は未然に防げるよう回覧、周知しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定期的に行っている職員研修に、職員全員が参加できるよう体制を整えています。やむを得ない場合は必ず伝達や確認を行うようにしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%				